

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	板宿音楽堂児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日	～	2026年 1月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日	～	2025年12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽活動において、児童が好きな歌をうたう機会を設けています。	退屈しないように工夫しています。目標をもって達成することを、音楽活動を通して目指しています。	それぞれの目標を明確にして、小さな達成感を積み重ねてつぎの目標にむかえるように療育プログラムを日々見直していきます。
2	月毎に制作物を作る機会を作っています。	児童の発想を大切にして、完成した喜びを味わえるようにしています。	制作に取り組むなかで自信につなげ、自身の感性を大事にできることで、考える力や自立心の成長を促していきます。
3	来所時のルール（靴箱・ロッカー・手洗い・宿題・おやつ・音楽活動）のルーティンを学んで整理整頓・集団活動を学ぶようにしています。	音楽活動において、進行役であるリーダーを日替わりで交代しています。その際に大きなテレビ画面に歌詞を映すP C担当を決めて操作を覚えてもらいます。	自ら進んで発言・行動につなげることで、楽しい音楽活動ができるように工夫をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるこ	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	音楽活動においてマンネリ化しがちなところがあること。	新しい体験を通して、児童たちのそれぞれの可能性を広げたい。	リーダー等、苦手な児童にも機会を与えて上手下手だけではなく体験的な音楽活動を工夫したい。
2	楽器に触れる時間が少ない。	タブレットでの動画視聴が人気がある。	孤立的な時間を減らし、マリンバやキーボード、ジェンベなどの楽器に触れる機会を増やせるように工夫したい。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	板宿音楽堂児童デイサービス	公表日	2026/1/26		
利用児	童数 2026/01/26 11名	回収数	7名		
	チェック項目	はい	どちらともいえない いいえ わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3 2	2		児童が気分転換をしやすいよう固定化しないように心掛けます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4 2	1		見えない状態がないように、適切に職員が動けるように心掛けます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3 1	3		おもちゃ等片づけやすい場所を設定して段差のない状況を意識しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4 2	1		児童が取り出しやすいように整理整頓を心掛けます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1		カーテン等を活用して、気分転換ができる場を確保します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5		2	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6		1	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	5 1	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6 1			本人支援の計画を保護者と共有するように心掛けます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5		2	活動プログラムの内容を、保護者と共有するように情報発信を心掛けます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1 4		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5 1	1		保護者が安心して利用できるように、情報提供をていねいにするように心掛けます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6		1	保護者の希望、本人支援の共有を心掛けます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3 1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5		2	公式ラインを活用して、事業所での様子を報告しています。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	2 1			

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			2		本人支援情報を保護者と共有するように心掛けます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		4	1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者にに対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			4		相談しやすい開かれたデイサービスを心掛けます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1				公式ラインで迅速に報告対応するように心掛けます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		1	4	保護者に防災マニュアルを配布してほしい。（1名）	虐待・防災・感染症防止研修会を実施している報告をていねいに行います。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1	4		地震・火災・水害避難訓練を実施している報告をていねいに行います。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1		4		こどもの安全確保を再点検するように、日々心掛けます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1		2		公式ラインを活用して、迅速に連絡報告をしています。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	6			1		本人の特性を確認しつつ安心できる場つくりを心掛けます。
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1		1		それぞれの児童の楽しめる場つくりを心掛けます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	5	2				保護者に不安を感じさせないように報連相を活用します。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		板宿音楽堂児童デイサービス				公表日	2026年 1月 26 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		各児童の個性を大事にしながら落ち着ける場所を提供しています。	児童が気分転換をしやすいように固定化しないよう心掛けます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	目がいきとどきやすいようにしています。	見えない状態がないように、適切に職員が動けるように心掛けます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		おもちゃ等片づけやすい場所を設定して、段差の少ない状況を意識しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	フリースペースを広くとって動きやすい場を作っています。	児童が取り出しやすいように整理整頓を心掛けます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	部屋は区切ってはいませんが、それぞれの落ち着ける場所を作っています。	カーテン等を活用し、気分転換ができる場を確保します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	虐待・身体拘束防止研修・感染症予防研修を実施しています。		
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	個々と全体の状況にあわせた療育プログラムを自発管を中心にスタッフ全体で考案しHPに公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	保護者からの意見・要望を折に触れて見直し職員と話し合っています。	児童のアセスメントを新たに見直しする機会をつくります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	それぞれの職員の考え方・意見を気軽に話すようにしています。	柔軟に意見を言い合える土壌をつくります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	来所～帰宅前の児童のスケジュールについては、共有されています。	各児童の目標を共有できるように心掛けます。	

	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	本人支援は日々、向き合えていますが、地域支援・地域連携は、なかなか踏み込む時間がないところです。	周囲の状況・環境を理解・把握することで支援の強化をめざすよう心掛けます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	固定化しがちな部分を工夫しながらおこなっています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	児童の特性をふまえて、個別支援活動と、集団活動として音楽活動を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	職員間の打ち合わせはよくやっています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	その時の状況で反省・話し合いをしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	日々の状況をケース記録や写真やビデオで共有しています。	見守りの中で小さな変化を見つけ共有できるように心掛けます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	地域交流としての音楽活動や、協働での創作活動を通して、自律的に成長できるように目指しています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	共同生活の決まりを学び、音楽活動や創作活動の取り組みで、それぞれのニーズにあった本人支援をめざしています。	児童それぞれの体調にあわせて、無理なくすすめるように心掛けます。
関係機	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	関係機関との会議において本人支援を共有できるように参画しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎時間等の対応を、学校側と適切に行っていいます。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		

関 や 保 護 者 と の 連 携	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		必要に応じて、卒業後の障害福祉サービス事業所との情報共有や相互理解を行っていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	公式ラインでの迅速な連絡方法を採用し、保護者への報告がでています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時に、支援プログラムや利用者負担の説明を行っています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	アセスメントの段階より本人とその家族主体のニーズに沿ってサービスの提案を心掛けています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	計画書の同意を得て、写しをお渡しし、保護者と本人支援について共有できています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	必要に応じて対応しています。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	苦情をお聞きした場合には、迅速に対応するように努めています。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	HPや公式ラインで迅速に報告をしています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	最近は少しのことでも問題になるので注意しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	送迎時を利用した会話を通じて配慮するように心掛けています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	大型音楽発表イベント等、近隣住民の無料参加ができています。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	避難訓練（地震・火災・水害等）を実施し、写真等で保護者に報告しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	契約時に、服薬状況、てんかん等の確認や情報を提供していただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	ご家族からの聞き取りを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	公式ラインを活用して迅速に対応します。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事業所スタッフで作成し反省点を共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	定期的な虐待防止研修会を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		やむを得ない状況が発生した場合には、十分に説明し理解を得ていきます。